



平成28年6月の新庁舎建設工事の着工から3年5か月を經まして、令和元年11月末に新庁舎の竣工を迎えました。

一口に3年といっても、3年間という期間は、中学生は高校生にクラスチェンジし、生まれたばかりのサラブレッドが日本ダービーに出走する年になる、そのくらい長い期間なのです。

そんな月日を経てようやく完成しました新庁舎、大きな庁舎ですのであますことなく紹介・・・とはいきませんが、雰囲気が出るよう外観・内観の写真を利用してその一部をご紹介します！



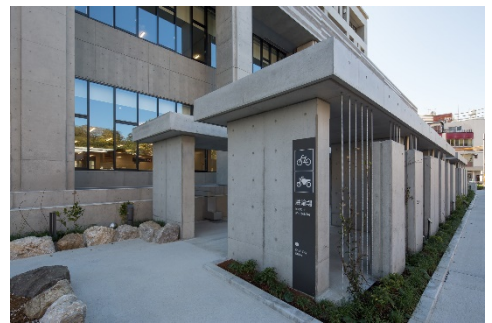
重厚感があり  
 守備力が高そうな  
 外観の佇まい！



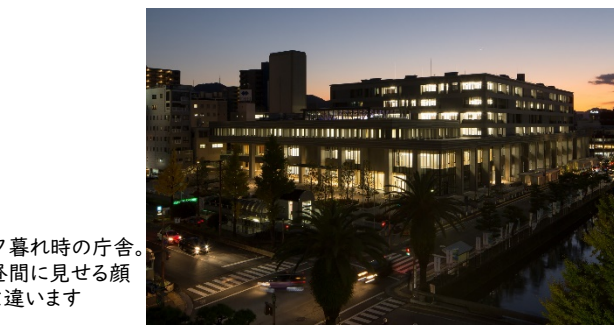
東正面玄関。  
 庇(ひさし)で  
 雨もしのげます



2階食堂前テラス。天井の形に注目！



北側来庁者用駐輪場。庁舎の雰囲気にマッチしています



夕暮れ時の庁舎。  
 昼間に見せる顔  
 と違います



ホバリング  
 スペースと  
 太陽光パネルと  
 高知城

**新庁舎落成式典・市民見学会を開催しました**

令和元年12月28日に国会議員や高知県知事など多くの方にお越しいただきまして、新庁舎落成式典を開催しました。

同日午後には、市民見学会を開催し、年の瀬押し迫る時期にもかかわらず約1,800人の市民の方が見学に来てくださいました。

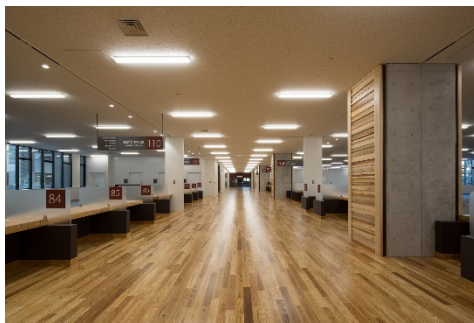
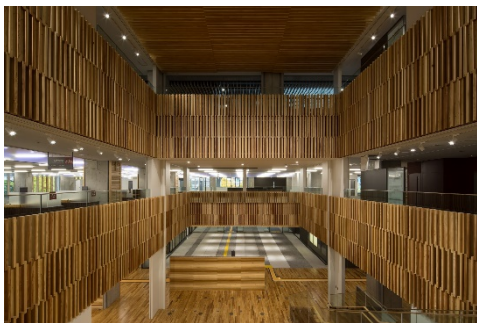


▲ 木材をふんだんに使った開放的な1階は大好評でした！





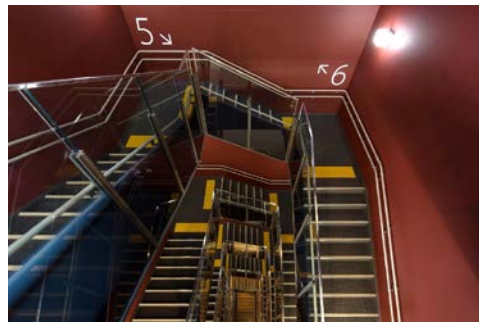
吹抜けからは  
一面木々を望む  
ことができます



1階窓口。フロー  
リングの木目が  
床に表情をつけ  
てくれます

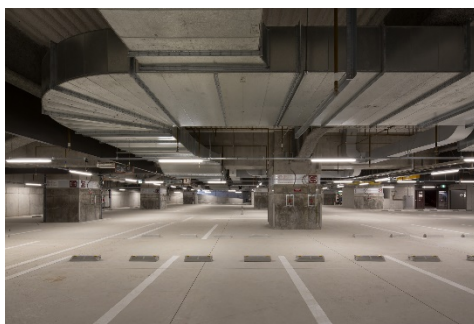
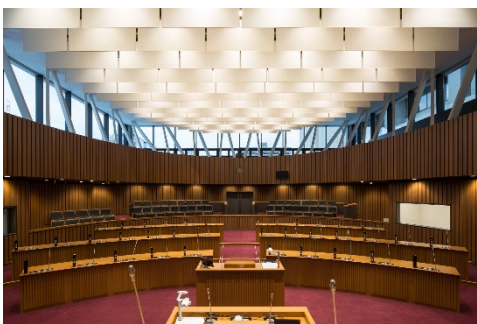


白くて明るいトイレ内



人だけでなく空気の通り道にもなる階段部

議場内。土佐和  
紙のシェードが  
優しい光を演出



免震層を  
利用した  
地下駐車場

## 新庁舎の完成を迎えて

新庁舎建設について本格的な検討開始から約8年・・・、高知市役所新庁舎はついに完成のときを迎えました。

構想・計画作りから始まり、基本設計・実施設計、そして建設と、この長い年月のできごとを事実や結果だけを並べると何とも無味乾燥に感じてしまいますが、その期間には、長期間・大事業ゆえのやりがい・苦勞のドラマがあったことは想像に難くありません。

皆さん、仕事に限らず旅行や日常生活でも何かやろうとしたとき、考えていた通りに進まないこと、しばしばあるのではないのでしょうか？実際にやってみると頭で考えていたプランとは違うことも多く、その都度見直し・修正を行いながらゴールをめざしていると思います。普段の生活でもそんな場面に遭遇するのに、これが長期間・大事業になればどうでしょう？実際に携わる人、その取引先や関係者などがどう見つめるのか？どうすればよくなるか？どうすればスムーズにいくか？など、皆で限られた条件の中で知恵を出し合い、話し合い、調整して、そして対応する、この繰り返しが行われているのです。

特に、建設工事にあたっては、地下工事や鉄骨工事のような大きなものから、家具工事のようなピンポイントのものまで、色々な工事や作業を行う必要がありますので、思いもよらない事態が起こったり、思わぬ余波を受けたりします。なので、それはもう検討・対応の連続です。

そういった状況の中で庁舎完成に向けて本当に多くの方が、侃々諤々、東奔西走しながら、庁舎完成という1つのゴールに向けて走り続けてくれたおかげで新庁舎は完成しました。

携わった人それぞれの考えや思いがたまっており、その思いが形になっていく。言葉にしてしまうと何ともチープに感じてしまいますが、みんなが色々な課題を乗り越えながら、一つの目標に向かって大きなものを作り上げることは素直にすごいことだなと思います。2019年の言葉で表現すると、まさしく「ONE TEAM」の精神と言えるのではないのでしょうか。

近年では、何事も結果だけを見がちで、モノ作りについても最終形を当たり前のように享受できるようになったせいか、残念ながらそのプロセスや結果に貢献してくれた人のこと思い浮かべる機会も少なくなってしまうかもしれませんが、そんな方々への尊敬を忘れることなく大事に使っていきたくと思います。

そして、これから先は皆さんの思いをこの庁舎に重ね、次の世代につながる庁舎となることを願っています。

皆さん本当にありがとうございました！

